



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

# 長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1  
事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016  
e-mail:nwrc@sweet.ocn.ne.jp

会長／池田 修平 幹事／中野 欣哉 クラブ会報委員長／青木 宏  
SAA／小山浩太郎 副 SAA／若麻績信昭

第1307回例会2014年（平成26年）9月5日（金）

## ロータリーに輝きを LIGHT UP ROTARY

会長挨拶

池田修平会長



### 「鬼門」

皆さんこんにちは。今日は皆さんも住宅や建築物を作るときに気にしている鬼門についてお話をさせていただきます。鬼門は東北方向で裏鬼門は西南方向です。この方向には玄関、水回り、トイレなどを作らないように

にします。昔中国では外敵がこの方向からくるので守ることが大事でした。日本でもこの方向は寒気、湿気を避ける目的で避けるように設計するようにしていました。家相を信じていなくても設計事務所は気をつけて避けるようにしています。

新潟県の長岡市には宝徳神社がありましてここでは住宅の図面を持っていくと水回り、玄関、トイレ、などチェックが入り直されます。そうすると設計のプランが変わり動線の良い図面にならないのです。でも信じている人はその方向で決めていきます。このように信じていなくても悪い方角はできるだけ避けるように考えます。迷信とか風習とか信じていなくとも考えるのが人間の知恵かもしれません。

9 / 12 本日のプログラム

ゲスト卓話 長坂朋美さん  
「23歳の挑戦」

9月のお祝い事

おめでとうございます



### <結婚記念会員>

吉田真砂彦さん 村田弘志さん 竹重王仁さん

### <夫人誕生記念>

福澤恵子さん 飯田幸子さん 小出ゆかりさん  
小林まさ子さん 村田美佐子さん 坂井志津子さん  
清水昌恵さん 山田美津子さん

### <会員誕生記念>

伊藤宗正さん 伊東義次さん 小林健治さん  
大橋東二郎さん 坂井史明さん 清水 満さん  
山口和彦さん 吉田真砂彦さん

幹事報告

中野欣哉幹事

- ・ 9月12日例会場 2階 弥生の間 に変更。
- ・ 9月7日 第2回ロータリーリーダーシップ研究会 (RLI) 清水クラブ奉仕委員長出席
- ・ 職場例会と秋の親睦ゴルフと松茸鍋の案内発送しました。返信を早めお願いします。

出席・ニコBOX報告 滝澤 功例会運営委員

9/5 (会員55名) 出席32名前々回修正出席率93.62%

- ・高橋英司さん☆もう9月、秋になりました。今年には暑い日がありませんでした。
- ・布施慶典さん☆話題の本の体験談を話させてもらいます。
- ・坂井史明さん☆家内の誕生日と私の誕生記念品をありがとうございました。
- ・滝澤 功さん☆久々に例会運営委員として発表します。  
70歳が過ぎたら体中ガタが来ました。しばらくメンテナンス中です。ご迷惑をおかけします。



・合計 16,000円    ・スヌーピー 5,284円  
・累計 170,909円

秋のゴルフと松茸鍋案内 高井会員家族委員長

皆様にご案内をだしましたが、10月12日(日)に開催します。ゴルフの方はまだ空きがありますのでふるってご参加ください。鍋のみ参加の方も返信をお待ちしています。よろしくお願ひします。

地区大会について 中野幹事

10月19日(日)の地区大会(於:駒ヶ根)は、17日の例会を振替えていますので、大勢の皆様のご出席をお願いします。今のところ、14名です。当日は長野ロータリークラブさんと一緒にバスにてホテル国際21を6時30分出発~東口経由で向かいます。

例会案内

- 9月19日 中川博司ガバナー公式訪問  
\*例会場は3階 千歳の間に変更です
- 9月26日 ゲスト卓話 塚田まゆりさん
- 10月3日 ゲスト卓話 八田慎蔵さん  
\*例会場は2階 弥生の間に変更です
- 10月10日 職場例会

会員卓話 布施慶典さん

「海賊とよばれた男(出光佐三)」から学んだこと

「海賊とよばれた男」(百田尚樹著)は、2013年本屋大賞に選ばれ話題となっています。出光興産の創業者出光佐三をモデルにした、ノンフィクションの経済歴史小説です。日本人としての誇りを持ち、国家(軍・官僚・GHQ)や同業界の社会秩序や既得権益に対して、自らの信念に基づき挑戦し続けた行動に、読者が感動と共感をしたことと思います。出光佐三の生涯が出光興産という会社といっても過言でない。出光には二つ定款があり、法律上の石油関連事業(これは手段)と精神上の人間が一致協力し社会に示唆を与える、つまり人に尊重される人間になる(これが真の目的)、であります。日本人として日本の事業経営をただけと言ひ、96歳で死去しましたが、昭和天皇が「国のためひとよつらぬ尽くしたる きみまた去りぬさびしと思ふ」と追悼の歌を詠まれました。私は、昭和38年から出光興産に勤めていましたが、上司先輩から多くのことを学んで体験したことを話します。1、入社式の社長挨拶で、卒業証書は捨てろ。実社会は非常に複雑で矛盾の多いので、学問や知識に頼らず活用して実践せよ。結果は成功失敗ではなく行動から学び次の行動につなげていくこと。2、支店、出張所は個人商店の経営だ。支店長は支配人登記をして、会社経営の責任を持ち任されている。社員の育成は、仕事の責任を持たせ、進んで難関な道を歩んで苦労させ、やり通す力の養成をする。3、事業資金の借りてこい。個人商店ですから資金の調達も当たり前のルールです。若い時代に任せられシドロモドロの説明から、良い経験をしました。金借りは今も役立っています。4、事実と真実を見極めよ。石油ショック時、原油輸入削減の情報は誰も解らず、情報の大事さを学んだ。今もマスコミの報道に踊らされるのは国民で、冷静な判断と自己責任感が必要です。5、組織改革は過去や現状に囚われず、白紙になって将来像を考えよ。6、人事異動は人とのご縁を大切にせよ。

